

1 大会運営にあたって

- (1) 選手、保護者の意向を尊重し、参加を強要しないこと。
- (2) 発熱または体調不良（咳や倦怠感等）がある場合や、健康に不安のある選手（微熱、風邪症状等）は、参加しないよう徹底すること。
- (3) 大会へ参加するものは、全員マスクを着用すること。
（※試合前のアップ時や試合出場中は、熱中症対策のためマスクを外してもよい）
- (4) 日頃の練習や練習試合等から JBA ガイドライン等に沿った感染予防対策を徹底すること。
- (5) 選手には、免疫力を高めるため、十分な睡眠、バランスの取れた食事を心がけさせること。

2 3密を避ける取り組みについて

- (1) 大会会場（体育館）に入場できるチームの人数を制限する。
 - 大会会場に入場できるチームの人数は次のとおりとする。
 - ・ 選手 15 名（登録された選手）
 - ・ チーム関係者 4 名（Hコーチ、Aコーチ、マネージャー、チーム責任者）
 - ・ 保護者については原則として制限は設けないが、感染の状況によってまたは各市町村体育館を管理する団体のガイドラインによって制限される場合がある。（事前に確認をとること）
※ 保護者はギャラリーからの観戦とする。（沖縄県警戒レベル指標：第 1 段階 参照）
- (2) 試合毎に選手及びチーム関係者の入れ替えと消毒作業を行う（試合間を 20 分程度設ける）。
 - 試合終了後、ベンチ、TO席等の消毒をして選手及び関係者が退場した後、次試合のチームの選手及び関係者が入場するようにする。
- (3) ギャラリーで観戦する保護者はソーシャルディスタンス（1メートル以上）を心がける。
 - 大声での観戦は禁止とする。（飛沫防止のため）
- (4) 開式・閉式は行わない。
 - チームは試合時刻に合わせて会場入りをする。また試合終了後、負けチームはTOを行ってから帰るようにする。 ※チーム責任者は朝の打ち合わせから参加する。

3 検温及び健康観察について

- (1) 大会当日の朝、必ず検温及び健康観察を行う。
 - ・ 熱はないか
 - ・ 咳や鼻水などの風邪症状はないか
 - ・ 頭痛や倦怠感はないか
 - ・ 息苦しさはないか

※ 熱や風症状等がある選手やチーム関係者の大会参加、保護者の観戦は認めない。
- (2) 検温後は「健康チェックシート」に体温を記入する。
- (3) 「健康チェックシート」は朝のミーティングで提出する。
- (4) ベンチ入りするスタッフ（4名）及び観戦のため体育館に入る保護者は、ネームタグをする。
※ネームタグは各チームで準備する。
※タグをしていない者の入場、観戦はみとめない。
- (5) 大会会場入り後に発熱症状、体調不良等の選手はすぐに帰宅する。
- (6) 大会終了後、帰宅後も検温及び健康観察を行い、記録しておく。
- (7) チーム関係者（保護者も含む）及び大会関係者等、体育館へ入場する全ての者は、2週間前から健康チェックを行い、記録しておく。

4 手洗い・うがい・消毒について

- (1) 体育館への入館前と退館後は手洗い・うがい・消毒を行う。
- (2) ワンプッシュ泡石鹸、消毒液は各チームで準備する。
- (3) 手洗い後の手をふくタオル等は共用せず、各自のものを使う。
- (4) 消毒を行う個所と担当の分担をしておく。(参加者全員で作業に取り組めるようにする)
○ベンチ：試合で使ったチーム ○TO席：TOを行ったチームの選手と保護者
○本部席：大会役員 ○ギャラリー：観戦したチームの保護者

5 マスク等について

- (1) マスクは基本的に会場入りから帰宅まで、全員着用する。
- (2) 試合前のアップ時、試合中はマスクを外す。(熱中症対策のため)
- (3) 試合に出ない選手及びベンチ入りするチーム関係者はマスクを着用する。
- (4) 外したマスクは清潔に保つようにする。(個別に袋を用意して入れておく等)
- (5) マスク着用時も水分補給をこまめに行う。

6 試合中の注意事項について

- (1) 試合前の声出しや円陣は行わない。また、ハイタッチも行わない。
- (2) 試合前及び試合終了後の握手は行わない。(キャプテンのあいさつもなし)
- (3) ベンチにいるメンバーは、ソーシャルディスタンスを意識する。
- (4) タオルや飲み物用のコップの共用はしない。(各自で用意)
- (5) 大きな声を出しての指示やアピール等を行わない。(飛沫防止のため)

7 その他

- (1) 常時窓を開けて喚起を行う。(雨天時はハーフタイム及び試合間に行う。)
- (2) 控え場所やミーティングの際には、三密にならないよう心掛ける。
- (3) 個人用の水筒を用意する。
- (4) 大会期間中に気分が悪くなった選手は保護者へ連絡し、帰宅させる。
(保護者が迎えに来るまでの控え場所は、他選手と距離を置くこと)
- (5) 試合終了後、自チームが観戦したギャラリーの手すり等は消毒液を使って消毒する。
- (6) 大会終了後、自チームの控え場所は消毒液を使って消毒をしてから帰宅する。
(手の触れる場所等を中心に)
- (7) 体育館外(窓の外等)からの観戦については、ソーシャルディスタンスの範囲で認めるが、守れない場合は禁止とする。
- (8) 密にならないよう、試合終了後の入れ替えは順番を決めて行う。(本部の指示等)
- (9) 試合当日までにチーム内の選手及び関係者に新型コロナ感染者が出た場合は、その他の選手の2週間の検温結果等を参考にチーム責任者と主催者で参加の可否を協議する。
(選手の家族が感染した場合は、その選手の出場自粛を求める)
- (10) 勝ち残っているチームの学校が臨時休校となる場合は、チーム責任者と主催者で参加の可否を協議する。
- (11) 大会終了後2週間以内に新型コロナ感染症を発症した場合は、速やかに主催者に報告し、指示を仰ぐ。※発症から過去2週間の検温を確認する場合があります。
- (12) 感染の拡大状況によっては、主催者判断により大会中止や延期等の措置を行う。

※ 参考資料

○JBA「バスケットボール活動再開に向けたガイドライン」

○沖縄県警戒レベルの判断基準